

平成29年度 郷土の自然 シラバス

沖縄県立真和志高等学校 教科(理科) 単位数(2)
 使用教科書 : なし(学校設定科目)
 授業対象 : 2・3年

学習の到達目標

1	自分たちが住んでいる地域の自然の特徴を総合的に理解する。
2	地域の自然環境の素晴らしさを理解し、他者に伝えることができる。
3	地域の環境問題に取り組む姿勢を身につける。
4	グローバルな課題と身近な課題を結びつけて考えられる力を身につける。
5	地域の自然環境の保全の重要性を理解し、次世代に伝える力を身につける。

評価の観点

①関心・意欲・態度	郷土の自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然を総合的にとらえる見方や考え方を身に付けているか。
②思考・判断	郷土の自然の事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断することができるか。
③技能・表現	観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができるか。
④知識・理解	観察、実験などを通して郷土の自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

学習進度予定

学期	月	学習項目	学習のねらい	評価の観点				時間
				①	②	③	④	
前期	4	沖縄の地理的位置と気候	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の気候は、亜熱帯海洋性気候であり、その特徴を知る。 沖縄の気候が、地理的位置と島嶼環境および海流の影響を受けていることを理解する。 沖縄の地質的特徴を理解し、沖縄島の北部と中部の違いについて考える。 	○			○	6
	5	琉球列島の生い立ち	<ul style="list-style-type: none"> 琉球列島はその形成過程において、何度か陸橋と島の時代を繰り返したことが独特の生物相を形成したことを理解する。 琉球列島の生物相の特徴として、南方系の種が多く、固有種が多いことなどを島の形成過程と関連させて理解する。 		○		○	4
		集落とその周辺の生物	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境に見られる植物や動物と人間活動との関係を考える。 		○		○	4
		沖縄のホタル	<ul style="list-style-type: none"> 人間に管理された自然環境として、路傍や耕作地、街路樹、屋敷林、放牧地、海岸の防風林などについて学ぶ。 	○	○			2
前期	6	沖縄のヘビ類	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄本島で見られるヘビを中心に、危険な毒ヘビと無毒ヘビの種類と特徴を理解する。 沖縄の危険生物の代表であるハブの種類とその分布・生態を島の形成過程と関連させて理解する。 	○			○	4
		校内の生物	<ul style="list-style-type: none"> 校内に生育する植物を調べ、植物標本の作製方法を理解する。 	○		○		4
	7	海岸・サンゴ礁の生物	<ul style="list-style-type: none"> チョウ・トンボ・セミ類を中心に、校内の昆虫相を学ぶ。 サンゴ礁域の魚類・甲殻類・棘皮動物などを観察し、その特徴を理解する。 水産資源にとってのサンゴ礁域の重要性を理解する。 	○		○	○	8

	9	干潟の生物	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟の特徴を潮の干満と関連させて考える。 ・干潟の価値を浄化機能・生物生産力・渡り鳥の重要な飛来地といった観点から理解する。 ・ラムサール条約に登録された漫湖について学ぶ。 ・泡瀬干潟を通して、干潟の環境問題について考える。 	○	○		○	6	
後期	10	マングローブの生物	<ul style="list-style-type: none"> ・マングローブを構成するヒルギ類の葉と根と種子を観察し、その特徴を学び、環境に対する適応について考察する。 ・マングローブ域に生息する生物とその特徴を理解する。 ・マングローブが「魚のゆりかご」といわれる理由を考え、その重要性について理解する。 	○	○	○	○	8	
	11	山原(山地)の自然、中南部と違う生物相	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばる地域の植物相について学び、沖縄島北部地域の潜在自然植生がスダジイ林であることを理解する。 ・ドングリの森の重要性について考える。 ・スダジイ、オキナワウラジロガシ、アマミアラカシなどのドングリを観察し、その特徴について学び、植栽する。 	○			○	6	
	12	沖縄県の天然記念物	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地域に生息する動物の特徴を理解する。 ・天然記念物の種類(国指定・県指定など)について理解 ・沖縄の動植物の天然記念物について学ぶ。 ・天然記念物の保全について考える。 	○			○	4	
	1	河川の生物	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の河川の特徴を島嶼環境と関連させて考える。 ・沖縄の河川に生息している魚類・甲殻類・水生昆虫などについて学ぶ。 ・河川の指標生物について学び、生物から見た水質判定を行う。 ・貯水池や砂防堰による河川生物の移動分断について考える。 	○	○		○	6	
	2	野鳥(渡り鳥)	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄に飛来する渡り鳥について学び、沖縄が重要な中継地であることを理解する。 ・渡り鳥の重要な採餌場所について学び、湿地の重要性を理解する。 	○			○	4	
			県内の環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の水資源利用状況とダムとの関係について学び、水資源の有効利用について考える。 ・ダム開発にともなう生物相の変化について考える。 		○		○	4
	3		<ul style="list-style-type: none"> ・耕作地のための森林伐採と赤土汚染について考える。 ・外来種と固有種の関わり合いについて考える。 ・中南部の都市河川の水質と人間活動について考える。 	○	○		○		

合計時間 70